

事務事業評価シート

(平成 25 年度実施事業)

事務事業名	水道メーター管理及び電算の運用業務事業			事業コード	1230
所属コード	903000	課等名	上下水道局給排水課	係名	サービス係
課長名	高橋敏晴	担当者名	栗谷川克寛	内線番号	6134
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	快適な都市機能	コード	7
	施策	いつでも信頼される上水道事業の推進	コード	5
	基本事業	安定給水の確保	コード	1
予算費目名	水道事業会計 01款10項10目 水道メーター購入費 (020-10) 水道事業会計 01 款 01 項 40 目 水道メーター出入庫管理業務 (016-10)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		開始年度	昭和 63 年度
根拠法令等	水道法, 計量法			

(2) 事務事業の概要

水道メーターの購入, 取付と返却等の在庫管理を含めた電算管理

(3) この事務事業を開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

水道使用者の正確な計量と安定した給水を維持するため, 水道メーター (有効期限 8 年) の効率的な運用及び適正な在庫管理をする必要があることから, 現状把握を行っている。また, 料金事務の電算化に伴い平成元年度からメーター情報も電算管理を実施している。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

水道メーターの適正な在庫管理を行うため, 更新計画等についてはきめ細やかな対応が求められている。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

水道メーター

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 見込み
A 水道メーター数	個	162,378	164,604	164,604	167,113	167,113
B						
C						

(3) 24年度に実施した主な活動・手順

メーターに関する情報を管理し、適正な運用を図るため次の業務を実施した。

- ①メーター入出庫処理
- ②メーター情報入力処理
- ③メーター在庫管理
- ④メーター購入
- ⑤メーター情報管理資料電算委託

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 目標値
A 水道メーター情報の管理個数	個	162,378	164,604	164,604	167,113	167,113
B 水道メーター入庫数	個	30,628	30,537	30,537	31,279	31,279
C 水道メーター出庫数	個	28,932	29,056	29,056	29,112	29,112

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

在庫並びに設置状況、有効期限等のメーター情報を活用し、適正な更新と、メーターの在庫管理を行う。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 目標値
A 水道メーター情報の管理達成率 （（水道メーター情報の管理個数／ 水道メーター数）×100）	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	%	100	100	100	100	100
B 水道メーター入庫割合（（水道メ ーター入庫数／水道メーター数）× 100	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	%	18.86	18.55	18.55	18.72	18.72
C 水道メーター出庫割合（（水道メ ーター出庫数／水道メーター数）× 100）	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	%	17.82	17.65	17.65	17.42	17.42

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23年度実績	24年度実績	25年度計画	25年度実績
事業費	①	千円	0	0	0	0
	②	千円	0	0	0	0
	③ 方債	千円	0	0	0	0
	④ 般財源	千円	0	0	0	0
	⑤ その他()	千円	52,938	52,938	57,637	46,445
	A 小計 ①～⑤	千円	52,938	52,938	57,637	46,445
人件費	⑥ べ業務時間数	時間	1,530	1,530	1,530	1,530
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	6,120	6,120	6,120	6,120
計	トータルコスト A+B	千円	60,588	60,588	65,287	52,565
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

水道メーター情報を正確に管理することにより安全でおいしい水が供給できる。

② 市の関与の妥当性

法定事務である。

③ 対象の妥当性

法定事務である。

④ 廃止・休止の影響

ライフラインのひとつであり廃止・休止はできない。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

水道メーターのより正確な管理及び電算の運用業務の向上を図る。

(3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

公平である。

(4) 効率性評価

平成 25 年度から水道メーター出入庫管理業務を直営で行うことにより、効率化を図っている。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

水道メーターの有効期限を最大限に生かした使用をより推進する。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

水道メーターの購入時期の見直し

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

水道メーターの適正な在庫管理により効率的な運用を図るため、メーター情報を電算化し正確かつ迅速な業務遂行に努めている。業務を委託していた盛岡市水道サービス公社が平成 24 年度に解散したため、平成 25 年度は、当該業務を直営で実施した。

メーターの出入庫管理業務は、水道使用量の正確な計量と安定した給水を確保するため、水道メーター（有効期限 8 年）の効率的な運用及び適正な在庫管理を徹底する必要がある、事務改善を継続して検討する。